

# お知らせ

INFORMATION

No.2015-06  
2015年1月

病体生理研究所

## 新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので  
ご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【新規受託開始について】

#### ◆ 抗ARS抗体〔16954〕

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2015年2月2日（月）より

【新規項目情報】

項目名称	抗ARS抗体
コード	16954
検体材料	血清 0.3mL
保 存	冷蔵
採取容器	No①→⑤
検査方法	ELISA
基準値	(-) 25.0 未満 (INDEX)
所要日数	3～10 日
実施料	190 点 (D014 16)
検査判断料	144 点 (免疫学的検査)
保険適応条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本検査と抗Jo-1抗体定性、抗Jo-1抗体半定量又は抗Jo-1抗体定量を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。</li> <li>・本検査と「D014(9)」から「D014(12)」に掲げる検査を2項目又は3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、それぞれ320点又は490点を算定する。ただし、本検査と抗Jo-1抗体定性、抗Jo-1抗体半定量又は抗Jo-1抗体定量を併せて実施した場合は1項目として数える。</li> </ul>
備考	不活化(非動化)検体では、データ影響を及ぼす場合がありますので避けて下さい。

◆ 抗ARS抗体

多発性筋炎・皮膚筋炎(Polymyositis/Dermatomyositis:PM/DM)は、骨格筋を障害する自己免疫性の炎症性筋疾患です。小児から高齢者まで幅広い年齢層で発症し、症状は多彩で個人差があります。

PM/DMでは、多様な特異的自己抗体が出現しますが、そのなかでも最も高頻度に見られるのがアミノアシルtRNA合成酵素(Aminoacyl-tRNA Synthetase:ARS)に対する抗ARS抗体です。

抗ARS抗体には、抗Jo-1抗体をはじめとした数種類の自己抗体が同定されており、これらが陽性の患者では、共通した臨床的特徴がみられ、「抗ARS抗体症候群」を呈します。その特徴に、極めて高い確率で間質性肺炎を併発し、治療反応性はステロイドが奏功するが再燃しやすいことが知られています。

本検査は、既存の抗Jo-1抗体を含む、5種類の抗ARS抗体を一括して検出いたします。抗ARS抗体の検出は、PM/DMの診断、治療法の選択、予後の予測に期待されています。

以上